

## 第1回目…「から」と「だから」の使い方

★日記文(6月) \* (注) ここでは一部漢字に変えている。

「今日、蚊に 刺されました。顔と足とひたいもさされました。  
すごくかゆいです。どうして蚊にさされたのか、考えました。  
蚊の針が 毛あなを深くさして、血をすうだからかゆいと思います。…」

### ☆筆者からの返信

…A ちゃんは、「どうして蚊は、血をすうのだろう？」と疑問をもって、調べたんですね。すごいね。いろんなことに興味をもつんだね。…それから、ことばの使い方でちょっと気になったところがあったので考えてみてください。それは次のところです。

#### 1. 「だから」(接続詞)を使うとしたら…

「蚊のはりが毛あなをふかくさして、血をすうだからかゆいと思います。」

A ちゃんは「だから」を使っていますね。「だから」は、前の文のことについて、「だから～です」と、自分の考えを説明するときに使いますね。それだったら、文は、どうなるのかな？ 考えてみてください。

⇒ 蚊のはりが 毛あなを ふかく さして 血を すいます。(前の文)  
だから( )。(後ろの文)

#### 2. 「から」(接続助詞)を使うとしたら…

それとも、もしかして、A ちゃんは「血をすうから」と「から」を使いたかったのかな？「から」は、理由を説明するときに使いますね。でも、「から」の前で文は切れませんね。では、「から」を使ったら、文はどうなりますか？

⇒ 蚊のはりが 毛あなを ふかくさして 血をすうから ( )。

☆では、問題です。どちらを使うか( )の中からえらんでください。

- ①かゆいのは、蚊のはりが 毛あなを ふかくさして、血をすう(だから・から)です。
- ②頭がいたいのは、かぜをひいた(だから・から)です。
- ③朝日が 赤い(だから・から)富士山も 赤かったです。
- ④朝日が 赤い。(だから・から)富士山も 赤かったです。
- ⑤とてもきれいだ(だから・から)ずっと 見ていました。
- ⑥とてもきれいだ。(だから・から)ずっと 見ていました。

★次の問題は、( )の中に文を考えて書いてみて下さい。

- ①今日、蚊に、顔と足とひたいをさされました。だから、( )。
- ②今日、蚊に、顔と足とひたいをさされたから( )。

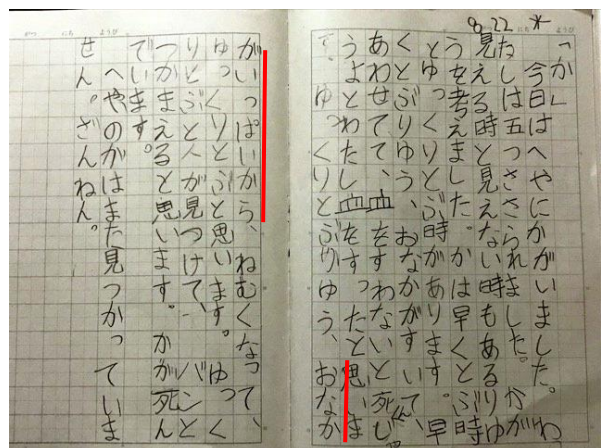
\*上の文は、「ひたいをさされたので」と「ので」も使います。

## 第2回目・・・「から」の使い方～なにで名詞？形容詞？時数詞？

日記指導でいちばん大切なことは、子どもの日記の良い点をみつけてまず褒めることである。誤りの指導だけでは子どもは嫌になる。きこえない子の日記には、表記の誤り、文法的な誤りなどいくつもの誤りがある。しかし、あれもこれも取り上げるのではなく、指導のポイントを絞って1回に1つか2つに絞るのがよい。

### ★日記文(8月)

右の日記はA子の実際の日記。自分が蚊に刺されたことから、蚊に興味を持ち、よく観察し、速く飛ぶときとゆっくり飛ぶときがあることを発見し、その理由について自分なりに考えている。ここでは、前回に引き続き、「から」の使い方について取り上げた。



### ☆筆者からの返信

\*ここで漢字を使用

Aちゃん、日記を送ってくれてありがとう。「蚊」がテーマの日記ですね。6月にも「蚊」をテーマにした日記を書いていたよね。6月の時は、「どうして、蚊は血を吸うのだろう?」というテーマだったけど、今回は、「どうして、蚊は、速く飛ぶ時と遅く飛ぶときが

あるのだろう？」というテーマですね。Aちゃんは、朝顔とか蚊とか、いろんなことに興味を持つんだね。まるで科学者みたいだなと思いました。

蚊が速く飛ぶのは、おなかがすいていて、早く血を吸いたいからなんだね。「血を吸いたい。早く血を吸いたい」とあせっているんだね。人間の血は、メスの餌なのかな？じゃあ、オスの蚊は、何が餌なんだろう？と、先生は不思議に思いました。わかったら教えてくださいね。

遅く飛ぶ理由は、血を吸っておなかいっぱいになって、体が重くなったからなんだね。重いとお早く飛べないから、きっと人間に見つかるよね。そんな時は、どこかに隠れているのかな？もし、わかったら教えてくださいね。あと、ちょっと、気になったところがあったよ。それは「から」の使い方です。

「おなかがいっぱいから、ねむくなって ゆっくりとぶと思います。」

○「いっぱい」は時数詞(国文法では名詞)

「おなかがいっぱいから」の「いっぱい」は形容詞？なにで名詞？それとも「もうこれ以上は無理です」という「量」をあらわすから時数詞？

「いっぱい」は、「おなかが いっぱいになつた」などと使えるけれど、「いっぱい、ちようだい」などと助詞を使わないでも使えるから、時数詞ですね。

量をあらわす時数詞には、「全部」「全員」「二人」「3個」「少し」「いっぱい」などがありましたね。

それから、なにで名詞というのは前にも勉強したよね。

「きれい」「しんせつ」「ひま」「ゆうめい」「しずか」「とくい」「にがて」「たいせつ」「じょうず」「へた」などですね。

名詞に似ているけど、「とても」を前につけて、「とても きれいだ」「とても しずかだ」などと言えたら、なにで名詞だよね。普通の名詞は「とても 机だ」「とても リンゴだ」などと言えないから区別ができますね。

なにで名詞とよく似ていることばに形容詞があるよね。最後が「～い」になることば。例えば「うつくしい」「大きい」「重い」「軽い」「やさしい」など。形容詞も「とても」をつけることができるね。「とてもうつくしい」「とても大きい」など。「いっぱい」も似ているけれど形容詞の活用表に入れてみると、「いっぴかった」とか「いっぴくなる」などとなって変だというのがすぐわかる。

